

みんなでつくろう、未来のまち。大口町

大口町議会議員

山崎 たくみ

活動報告 No.10



令和 7 年 10 月吉日
発行 山崎たくみ事務所
小牧市西之島 1719-1
東海理化労働組合 内
TEL 0568-73-2585

ごあいさつ



今年度より、文教福祉常任委員会の委員長を務めております。

9 月も終盤に秋の涼しさを感じるようになりましたね。大口町議会議員の山崎たくみです。 日ごろは私の議員活動へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。 国政では、トランプ米政権との自動車相互関税交渉も決着を迎えましたが、従来税率 2.5%から 15%への大幅な増加となっており、これまで以上に世界・国内経済ともに先行き不透明な状況です。

さて、先の 9 月定例会では昨年度決算など重要議案に対して審議を行いました。引き続き皆様のお声を町政へ届けます！今後も応援をよろしくお願い致します。

9 月定例会報告 ※議案抜粋

- ▶会期 令和 7 年 9 月 1 日～9 月 25 日（25 日間）
- 議案 計 22 件を審議。全議案、原案可決しました。
- 予算関係 6 件、条例関係 10 件、議員提出 3 件、その他 3 件

大口町こども条例の制定について

（内容）

町政 60 周年を機会に「こども条例」の制定を進めてきた。この条例の制定の目的は、こどもの権利の保障、町の責務、大人が担う役割およびこどもに関する施策の基本となる項目を定め、**すべてのこどもが幸せに暮らすことのできるまちの実現を目指す**ことです。



大口町にもようやく、こども条例が制定されました。大口の子は大口で育てる、その思いが詰まった理念条例です。みなさん、前文をご覧ください。



令和 7 年度大口町一般会計補正予算（第 5 号）

（内容）

・物価高騰対策支給米調達業務（歳出予算 636 万円 増額）

国費の物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を財源として、高校生世代のいる世帯に大口町産米 10 キロを支給する。

・賄材料費、学校給食物資追加（歳出予算 1,847 万円 増額）

物価高騰により、給食 1 食当たりの単価を今年 7 月 1 日から、小中学校ともに 50 円値上げしたことによる。

・給食センター施設管理事業（歳出予算 1 億 8,651 万円 増額）

新給食センター建設のための用地購入のための費用と、購入する用地にある既設の建物と地盤の調査、新施設の基本設計を行う。

子育て世帯に対する臨時物価高騰対策です！詳しくは裏面をご覧ください！！



本年 4 月に開始した給食費無償化事業、当初予算 1 億 6 千万ほどでしたが、物価高騰の影響がすでに出ています。



（次ページへ続く）

9月定例会報告 一般質問を行いました！ ※テーマ抜粋

テーマ1：長期休暇中における児童クラブへの昼食提供体制の整備を

課題意識

近年、小学生を扶養する共働き家庭の多くは、不審者や交通安全への心配などから、児童クラブの利用者が増えている。特に夏休みを始めとした長期休暇において、昼食の弁当の準備が共働き家庭の保護者負担が大きい。

こどもたちの夏休みに入る喜びの笑顔が微笑ましいですが、反面、親にとっては昼食の弁当づくりが憂鬱になりがち。



問 実態把握とニーズ調査は？

答 昨年近隣の児童クラブを見学した。宅配弁当を保護者が弁当業者へ直接注文する方法であり、注文を忘れることや、こどもの好みに合わず食べ残しも多く、全く食べない子もいる。こどもの視点からは宅配弁当の提供が必ずしも良いとは言えず、これまでニーズ調査は行っていない。

問 児童クラブへ給食を提供する場合、制度的・運用的な制約は？

答 食缶で各児童クラブまで運ぶ場合、配送車にリフト機能がなく、学校以外への配送が困難であり、また、米飯は、学校給食として炊飯・配送を委託しており、委託ができない場合は、給食センターもしくは児童クラブで、炊飯器や保温容器等を購入する必要がある。衛生管理の面では、夏休みにおいては配送車が保冷車ではないため、食中毒の発生が懸念される。



問 モデル事業として次年度夏休みに限定し、希望者のみを対象とした提供は？

答 現在の給食センターは老朽化が進み、建て替えを検討している。長期休暇中には、修繕が必要になる可能性があり、現在の状況では来年の夏休みに児童クラブへ給食提供のモデル事業を実施するには、心配点も多く、難しい状況にある。

問 町の方針と検討スケジュールは？

答 今年度、文教福祉常任委員会協議会の視察先が、先進地の茨城県境町を企画しており、担当課職員を同行させ、設備や人の配置、運営方法を勉強し、今後、ニーズ調査を実施し検討していく。

学校の休み期間に児童クラブへの給食提供は、共働き家庭の負担軽減と、給食センターで働く人の雇用確保の良いところ取りになるのでは？



議会トピックス

16歳から18歳の子供を扶養する世帯への大口町産の新米10kgを配布する事業の計画は、以下のように進めていく予定とのこと。



【年末までに】対象世帯へ引換券の送付

【年明けから】引換券とお米の交換・引渡し

すべての議案審議結果は町ホームページから閲覧できます。



一般質問の詳細は議会YouTube配信から視聴できます。



地域の困りごと、政策・制度に関するご意見、ご要望等がありましたら、お気軽に「くらしの相談窓口」へご連絡ください。

〒485-0077 小牧市西之島 1719-1 東海理化労働組合 内
TEL 070-7426-7325(直通)
MAIL takumi.yamasaki@exc.tokai-rika.co.jp



日々の活動を掲載。
こちらからご覧ください！



facebook



Instagram